

研究報告会と公開授業を行いました

7月14日(木)城北中学校において、飯山市中高交流学力向上事業の平成22年度研究報告会を行いました。また4年目に入った今年は、午前は泉台小学校、午後は城北中学校において公開授業を行いました。

小学6年生では「D-Linesを活用して『速さ』を求める」を石澤倫雄教諭と日台邦治教諭のTTで、中学3年生は「二次方程式の平方完成による解法」を日台教諭と伊藤栄一教諭のTTで行いました。当日は県教育委員会の方々をお迎えし、小・中・高の先生など50名を超える方々の参加がありました。

<授業についてのご意見・ご感想>

- 時間・道のり・速さの3つの要素があるのではなく「1単位時間あたりの道のりを『速さ』と言う」ことがよく分かりました。
- D-Linesは機能的で良いですね。児童みずから導き出せるので「解けると楽しい」と言っていました。
- 3-Stepプリントの「今日の踏み台(既習内容の確認)」がとても良いですね。その次が、単に「問題を解こう」ではなく「解き方を考えよう」と提示していたのがとても良かったです。



左：日台教諭による二次方程式の復習のあと、伊藤教諭による平方完成(中3～高1の内容)の説明をするという授業を行いました。

右：小学6年生の問題を、D-Linesを活用して、児童自ら答えを導くという授業を行いました。



<報告会についてのご意見・ご感想>



研究報告会

- 生徒は小・中学校の9年間を経て勉強してきた訳だから、高校だけで指導しようとしても無理があります。中高の交流会を年1回のペースで行って指導法等をお互いに研鑽しようとしても、なかなかできるものではありません。その点、ICは通年でシステムチックに連携している良いと思います。
- 生徒は「わからない」のではなく、「納得のいく理解」をしていないから問題が解けないのだと思います。今日の授業では児童みずから解く場面が多く見られ、とてもよかったです。
- 新しいものばかり追うのではなく「ちょっと戻って」「脇道にそれて」「中学の方法に戻って」の繰り返しが必要です。とても実のある研究会でした。

D-Lines：量的二重数直線図。割合や比、比例の指導に有効です。たとえば上記の問題では、時間・道のりを二本の数直線で表すことにより、速さを「単位時間あたりの道のり」として、比例の関係でとらえることが出来ます。

3-Stepプリント：授業と家庭学習をつなげるプリント。①みんなで考えよう ②一人で考えよう ③家でもやってみようの三つの段階を、一枚にまとめたものです。

北高チューターを行いました

高校生が中学生の学習をサポートする「北高チューター」も3年目を迎えました。中学校の夏休み中の学習会に、各中学校を卒業した北高生を中心にチューターとして参加し、学習等のサポートをしました。それぞれの日程・参加者は以下のとおりです。

- 城南中学校：8/1(月) 中学生 8名 北高生 5名
2(火) 中学生 9名 北高生 5名
- 城北中学校：8/3(水) 中学生 23名 北高生 6名
4(木) 中学生 24名 北高生 7名
- 野沢温泉：8/1(月) 中学生 5名 北高生 6名
中学校 2(火) 中学生 8名 北高生 5名



城南中学校にて



城北中学校にて



野沢温泉中学校にて

今年度は、野沢温泉中学校でも北高チューターを実施することができました。

中学生の声

- * 高校生は先生と違って同じ目線で教えてくれたので、とても楽しかった。
- * 家では一人なのであまりやらない教科も、先輩が教えてくれたので出来てよかった。
- * 先輩たちは説明が上手いし、わからないところを簡単に解いてしまって、すごいと思った。
- * 秋も参加して、いろんな教科の勉強をしたい。

高校生の声

- * 中学の時に北高チューターで教えてもらったときは良く分かったけど、自分で教えるのは難しい。自分では分かっているけど相手に伝わらない事があった。
- * 答えを言わないようにして、中学生が自力で答を導けるようにした。
- * 勉強以外にも、北高についての事とか話げできた。
- * 「ありがとうございます」と言われて嬉しかった。